

10月9日講演会「海の子50年」のお知らせ

第177回木曜会講演会は海神会(商船、海事、海洋政策)の担当です。

「海の子50年 —外航船社で30年、水先人で20年—」の講演でお楽しみください。

1. 日時:10月9日(木) 18:00~19:20講演、19:20~20:30頃 懇親会
2. 演題:「海の子50年 —外航船社で30年、水先人で20年—」
3. 講師:片岡 徹 前日本水先人会連合会会長
4. 場所:東京六甲クラブ アクセスは以下URL参照ください

<https://www.rokko-club.jp/access/index.html>

[講演概要]

琵琶湖で育った湖の子が、いつしか世界の海と船を相手の海の子として50年。前日本水先人会連合会会長が、貿易立国ニッポンの海上輸送の現状と、船舶の安全運航を支える「海のパイロット」の業務について、わかりやすく解説します。

水先人(パイロット)とは？

我が国へ船によって運ばれてくる物資は、現在年間7~8億トンにも及び、主要な港に入出港する船は8~9万隻にも達します。漁船も含めると、港や周辺の海域は常に大小様々な船が行き交い混雑しています。世界中を航行する船の船長にとって、様々な港の状況や自然条件、国ごとに定められた交通ルールなどを全て把握することは困難です。そこで、世界のほとんどの港やその周辺の海域では、船を安全かつ効率的に入出港させるため、事情に精通した操船技術者が船長のアドバイザーとして乗船します。このアドバイザーを「水先人(パイロット)」と呼びます。

[講師略歴]

1973年(昭和48年)神戸商船大学航海学科卒、大阪商船三井船舶(現株商船三井)入社

航海士・船長として外航船に乗船勤務の他、本社勤務

2006年(平成18年)阪神水先区(現大阪湾水先区)水先人会入会

2023年(令和5年)日本水先人会連合会会長、2025年退任

申し込み(期限はいずれも10/2)

1. クラブ参加 4000円/人(ビジター5000円/人)

<https://forms.gle/L67xT6pyFNCTkUYm8>

2. ZOOM参加 1000円/人

<https://rokko-mokuyoukai-177.peatix.com>

初めて申込サイト「Peatix」を利用する方の登録方法は以下の通りです。

https://www.rokko-club.jp/data/peatix_ver1.pdf

・申込が上手く登録出来ないときは、お名前に、卒年・学部を添えて、ZOOM参加と明記の上、クラブ宛にメール返信にてお願いします。

tokyo@rokko-club.jp